

化学物質等安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	:反応染料2インク イエロー
製品コード	:SPC-0357Y-A, SPC-0393Y-A
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:技術本部
メールアドレス	:ink@mimaki.com
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
	:(財)日本中毒情報センター 中毒110番
	* 一般市民専用電話
	(大阪)072-727-2499 365日 24時間対応
	(つくば)029-852-9999 365日 9~21時対応
	* 医療機関専用電話
	(大阪)072-726-9923 365日 24時間対応
	(つくば)029-851-9999 365日 9~21時対応
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	
推奨用途及び使用上の制限	:水系染料インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

〔GHS分類〕

物理化学的危険性	
引火性液体	:区分外
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:区分外
急性毒性(吸入:ガス)	:分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	:区分外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分外
呼吸器感作性	:区分外
皮膚感作性	:区分1
生殖細胞変異原性	:区分外
発がん性	:区分外
生殖毒性	:区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	:区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	:区分外
吸引性呼吸器有害性	:区分外
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	:区分外
水生環境有害性(慢性)	:区分外

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

〔GHSラベル要素〕

化学物質等安全データシート(MSDS)

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H317 アレルギー反応性皮膚反応を起こすおそれ

注意書

[安全対策]

P261 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋を着用すること。

[応急措置]

P302+P352 皮膚についての場合:多量の水と石鹼で洗うこと。

P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

P363 汚染した衣類を再使用する場合は洗濯すること。

[保管]

P411+P235 30℃以下の温度で保管すること。冷暗所に置くこと。

[廃棄]

P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 :混合物

成分及び含有量

成分名	含有量 [%]	官報整理 番号	CAS No.	備考
色素	10-15	-	-	
ジエチレングリコール	1-10	(2)-415	111-46-6	
有機成分	15-20	-	-	
水	残余	対象外	7732-18-5	

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にして下さい。必要なら医師に相談して下さい。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗って下さい。衣服に付着した場合は、脱衣前に付着部分を水と石鹼で洗って下さい。炎症の兆候がある場合は、医師の診断を受けて下さい。

目に入った場合

直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。目の刺激が続く時には、医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、200~300mlの水を飲ませて下さい。飲んだものを吐き出させないで下さい。医師の診断を受けて下さい。

応急措置をする者の保護

化学物質等安全データシート(MSDS)

特にありません。

5. 火災時の措置

消火剤

化学消火剤、二酸化炭素

特有の消火方法、消火を行う者の保護

吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いと思われます。

必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用して下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

眼にインクが入らないように気をつけて下さい。手に付いたインクは水と石鹼でよく洗い流して下さい。必要な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用して下さい。

環境に対する注意事項

下水に流さないで下さい。

封じ込め及び浄化の方法・機材

スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄して下さい。作業の際には、換気をして下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:通常の手扱いは必要ありません。

局所排気・全体換気:対象物質の環境測定値が許容濃度未満となるよう、適切な排気・換気を行って下さい。

注意事項:眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにして下さい。また、インクを飲まないようにして下さい。

接触回避:通常の手扱いは必要ありません。

安全取扱い注意事項:カートリッジをプリンタに装着する際には、カートリッジからインクが漏れていないことを確認して下さい。カートリッジを分解しないで下さい。カートリッジを強く振らないで下さい。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。

保管

保管条件:直射日光を避け、常温常湿で保管して下さい。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないで下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度、許容濃度]

設定なし

[設備対策]

必要としません。

化学物質等安全データシート(MSDS)

〔保護具〕

呼吸器の保護具

プリンタを利用して作業をする場合には、マスク等の呼吸用保護具を使用して下さい。

手の保護具

プリンタを利用して作業をする場合は、保護手袋を使用して下さい。

目の保護具

プリンタを利用して作業をする場合は、ゴーグル等の保護眼鏡を着用して下さい。

皮膚及び身体の保護

プリンタを利用して作業をする場合は、保護服を着用して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	:黄色液体
臭い	:わずかな臭い
粘度	:5mPa・s以下
pH	:7.5~9.5 (at20°C)
沸点(初留点及び沸騰範囲)	:有効データなし
引火点	:100°Cで引火しない (closed cup)
燃焼又は爆発範囲の上限下限	:なし
蒸気圧	:有効データなし
蒸気密度	:有効データなし
比重(密度)	:有効データなし
溶解度	:∞(水への溶解度)
n-オクタノール/水分配係数	:有効データなし

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)

一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。

避けるべき条件

一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。

混触危険物質

酸化剤、爆発物

危険有害な分解生成物

火災時に有毒ガスが発生するかもしれません。

11. 有害性情報

〔急性毒性〕

経口LD50 (rat)	経皮LD50 (rat)	吸入LC50
>2000mg/kg	>2000mg/kg	データなし

意図的にインク蒸気を吸入すると、呼吸器を刺激するかもしれません。反応染料は呼吸器の感作に関連があります。

〔皮膚腐食性/刺激性〕

化学物質等安全データシート(MSDS)

- 軽度の刺激性があります。
〔眼に対する重篤な損傷・刺激性〕
中程度の刺激性があります。
〔呼吸器感作性又は皮膚感作性〕
皮膚感作性があります。
また、意図的にインク蒸気を吸入すると、呼吸器を刺激するかもしれません。反応染料は呼吸器の感作に関連があります。
〔生殖細胞変異原性〕
陰性(Ames試験)
〔発がん性〕
IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ1,2A,2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。
〔生殖毒性〕
EU指令1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません。
〔特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露〕
有効データなし
〔特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露〕
有効データなし
〔吸引性呼吸器有害性〕
有効データなし

12. 環境影響情報

一般注意事項

- ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- 当該法規(国・都道府県及び地方の法規・条例)に従って廃棄物処理を行って下さい。
外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

14. 輸送上の注意

国際規制	:該当しません
国連番号	:該当しません
品名(国連輸送名)	:該当しません
国連分類	:該当しません
容器等級	:該当しません
海洋汚染物質	:該当しません

15. 適用法令

消防法	:該当しません
労働安全衛生法	:該当しません
PRTR法	:該当しません

16. その他の情報

化学物質等安全データシート(MSDS)

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

改訂履歴

Ver.	日付	項目No.	内容
1.0	2010/12/20		新規作成
2.0	2012/12/22	1	メールアドレス変更 jp⇒com 担当部門名変更、担当者名削除